

熟議

☎社会教育課 ☎52-5813

「地域とともにある学校づくり」 のための研修会

8月4日(木)、中央公民館で「平成28年度田布施町地域協育ネット研修会」を行いました。

今年度、町内全小・中学校にコミュニティ・スクールが立ち上がり、各学校では、学習支援や学校支援の取り組みが活発に行われるようになりました。今後、「地域とともにある学校づくり」をさらに加速させていくために、この取り組みに対する思いの共有と方向性を確かめました。

■テーマ

「よりよい学習支援・学校支援活動にするために」

■内容

- ・小グループ(各グループ5～6人、いろいろな立場の人で構成)で協議する。
- ・大判用紙に話し合いの内容(ながれ)を記す。
- ・協議の後、各グループで話し合ったことを発表する。

■参加者(75人)

小・中学校教職員、学校運営協議会委員、地域コーディネーター、学習支援ボランティア、放課後子ども教室関係者、学校支援関係者、家庭教育支援関係者、放課後児童クラブ支援員、公民館職員、町職員

■これまでの取り組みの成果

- ・学校と地域のつながりが深くなり、学校の様子がよく見えるようになった。
- ・お互いに顔見知りになり、交わす挨拶が事務的ではなく心が通うようになった。
- ・学習支援に入った時、子どもの嬉しそうな顔を見ると、自分も励みになる。自分の生きがいにもなるので、今後も続けて取り組みたい。
- ・(学校の意見として)学習支援をしていただいて、子どもの理解が早まった。
→家庭科など、作業に個人差が出る内容については大変効果的で、一人ひとりへの支援が厚くなった。



■これからの取り組み(課題)

- ◇つながり強化
 - ・学校や地域それぞれに期待することは何か、お互いにもっと話したい。
 - ・先生とボランティアが、ゆっくりと会話をする場が必要。
- ◇地域に開かれた学校(気軽に、気楽に学校へ)
 - ・コミュニティ・ルーム(地域サロン)をつくり、学校に入りやすい工夫を。
(玄関近くの1階に・湯が沸かせる・ソファや囲碁・将棋セットあり)
- ◇支援の充実
 - ・支援に入る前に、打ち合わせの時間が必要。
 - ・学校は、もっと遠慮なくボランティアを利用するとよい。
 - ・ボランティアの増員を。
 - ・ボランティアの研修の場を設けるとよい。
- ◇情報発信、情報収集
 - ・学校からの情報提供がもっとほしいし、情報収集に努める必要もある。

